



保育園だより



澄みきった広い空、爽やかな風、草陰から聞こえる虫の声、どれも気持ちよく心にしみて秋を感じます。戸外活動に絶好の季節となりました。散歩や園庭探索で木の実拾いや虫探しなど身近な自然に触れてのびのびと遊ぶ中で、一人ひとりが経験する感動や発見に共感しながら、感性豊かな心を育てていきたいと思っています。



子どもたちは今、戸外での運動遊びを十分に楽しみ、生き生きと活動しています。友だちと一緒に思いきり体を動かして遊びこむ過程で、勝った喜びや負けた悔しさ、仲間意識や葛藤、その子なりの目標や挑戦、やり遂げる充実感など、様々な感情を経験していく子どもたちは、運動能力の育ちだけでなく心も大きく成長し、ずいぶん逞しくなりました。また、そんな姿に小さいクラスの子どもたちも影響を受けているようで、園庭から聞こえてくる賑やかな曲に誘われ、体を揺らして喜び可愛い笑顔にあふれています。

日頃の遊びや取り組みの中での育ちを大切に見守りながら、子どもたちの「やるぞおー！」という意欲あふれる姿を精一杯応援していきたいと思っています。

引き続き熱中症対策や、朝夕と日中の気温差による風邪など、子どもたちの体調管理には十分留意して、健康に過ごせるようにしていきたいと思っています。



今月の予定

- 1日(火) いわっこ・・・健康安全についての約束
- 8日(火) 発育測定
- 9日(水) 発育測定・・・身長、体重、胸囲の測定
- 9日(水) 不審者訓練・・・園内に不審者が侵入の想定
- 16日(水) 誕生会・・・10月生まれの友だちをお祝い
- 19日(土) オータムフェスティバル
・・・思いっきり運動遊びを楽しもう！
(りす・うさぎ・きりん・ぞう組の参加となります)
親子避難訓練・・・調理室より出火の想定
- 30日(水) 親子ふれあい教室
・・・地域の未就園児が遊びにきます
- 31日(木) 遠足・・・友だちと楽しい時間を過ごします
- ☆体操教室☆ 4日、11日、18日、25日(金)
- ☆英語教室☆ 21日、28日(月)

11月の予定

- 1日(金) いわっこ
- 5日(火) 発育測定
- 6日(水) 発育測定
- 12日(火) 避難訓練
- 13日(水) 内科健診
- 19日(火) 連れ去り防止訓練
- 20日(水) 誕生会
- 21日(木) 歯科健診
- *ぞう組個別懇談*
- 11日(月)～15日(金)
- *お店屋さんごっこ*
- 26日(火)～27日(水)
- ☆体操教室 8日、15日(金)
22日、29日(金)
- ☆英語教室 11日、25日(月)

目を大切に！10月10日は目の愛護デー



子どもの視力が大人並みの 1.0 くらいになるのは6歳頃と言われ、乳幼児期にいちばん発達するそうです。子どもは視力に異常が生じても自分で症状を訴えることは難しいこと。気になる様子があれば眼科を受診しましょう。

*目を細めて見る *まぶしがる *顔を傾けて見る *横目で見る *涙ぐんでいる
*目やにが出る *瞼が下がっている *瞬きが激しい



薄着の習慣

これからの時期、朝夕肌寒くなるとつい子どもに厚着をさせたくなりますが、子どもは意外と寒さに強いもの。薄着でいると冷たい風が刺激となって自律神経などが活発に働き体温調節機能も高まります。冬に向けて、抵抗力をつけ丈夫な皮膚を作るためにも今から薄着を心がけていきましょう。また、薄着は運動能力の発達を促すとも言われています。サイズが体に合っていて、着脱しやすい素材や形の衣服を着用し、思いきり体を動かして遊べるといいですね。

習慣づけには、長袖に代える時期を大人より少し遅らせたり、重ね着を大人より1枚少なくしたりが目安です。薄着で過ごすコツは、寒いと感じたら薄手の上着を着脱して調節、肌着を着て保温、お腹と背中が出ないようにするなど工夫をしましょう。



〇〇の秋！ 何の秋かな？

<スポーツの秋>

保育園ではオータムフェスティバルに向けて今、運動遊びが盛り上がっているところです。休日にはお子さんと一緒に、ちょっとした運動にチャレンジしてはどうでしょう。気持ちよく体を動かして心身を開放し、リフレッシュしましょう！

<読書の秋>

秋の夜長をメディアから離れて絵本に触れてみませんか？読み聞かせでは温もりが伝わります。子どもは絵本を読んでもらうことで、お話の世界に入り込んで感情体験をし、想像力が膨らみ、自分なりのイメージを広げていきます。そしてその経験は、将来ひとりで読書を楽しむために必要な力となるでしょう。豊かな感性を培う乳幼児期の今だからこそ、ゆったりと絵本を読んであげてはいかがでしょうか！

<食欲の秋>

涼くなり食欲が回復してきた子どもたち。調理室のガラス越しに給食を覗き込み「いい匂いがしてきた～」とワクワクする姿が見られます。子どもは三食しっかり食べて十分なカロリーを摂ることが必要であり、楽しい雰囲気の中で自ら『食べたい』と思い、『おいしいね』と食べる喜びを感じることで、何よりも心身の栄養になり健やかな成長に繋がります。家族で食卓を囲み、食に興味を持つような働きかけの工夫をすることで、笑顔で食事ができるといいですね。